

すなが和良

かずよし

活動報告

2015年7月8日発行 第14号

※この活動報告には政務活動費は使っていません。
私費で発行しており、書いてある事は私見です。

私たち市民が変わろう。
そうすれば議会も行政も変わる。



「議員は地元の代表」という洗脳で、
地元で応援しない奴ははぶかれる。
同じ地元から新人は出られない。
地元に必要なだから定数削減はしない。

12年

議員定数は 12年前から変わらない。

君津市議会が最後に定数削減をしたのは12年前の平成15年6月です。

12年前に今の定数24人にしてから一度も削減をしていません。

12年前と今とでは人口が約5000人減っています。それでいて定数を減らしていないという事は、事実上定数を増加させているのと言えます。ちなみに職員数は12年前から約100人削減しています。

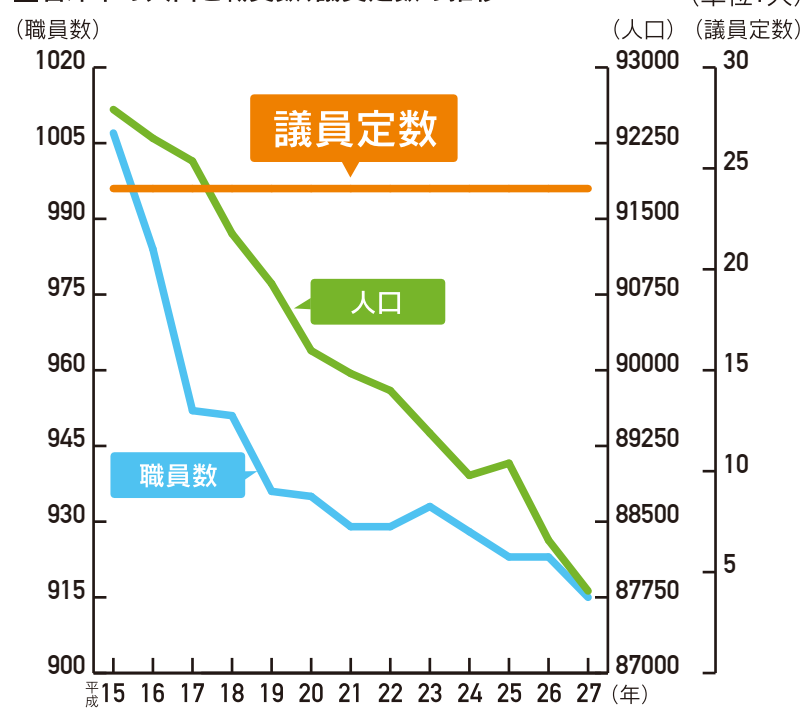
Q 削減したら市民の声が届かなくなるのでは？

A 議員は市民の代表、地元の代表は自治会長がいます。

自治会長は市政協力員として、市民の意見を市に伝えてくれますので、議員定数を削減しても問題はありません。

議員定数を削減して問題が起きるとすれば、議員が仕事をしていないだけです。

■君津市の人口と職員数、議員定数の推移



増額

議員のボーナス増額。

昨年、市長選が終わって間もない平成26年12月の議会において、議員のボーナスが増額される議案が市長から提出されました。

これは市の職員に対し、国からの勧告によりボーナスを増額する事に連動した動きでした。しかし、

- ・国からの勧告は職員にだけ。
- ・職員の増減と議員の増減が連動するというルールは無い。
- ・新たな市民負担をお願いするような厳しい財政状況である事。

から私は反対しました。

市の職員は今年度4月から基本給が減額されています。しかし、市長・副市長、議員は減額をしていません。

これではまるで、社員の給与だけ減らし、経営陣が身を切らない会社です。増額の時だけやっぱり「便乗値上げ」のようなやり方で良いのでしょうか？

議員のボーナス増額議案に反対したのは私一人だけでした。

市民の皆さんは賛成ですか？

二重

議員として会議に出ても 報酬がもらえる？

君津市議会では二重報酬と呼ばれる制度がまだにあります。

市議会議員は議員報酬をもらっています。

しかしそれ以外に、農業委員会や各種審議会、協議会などに議員として出席しても報酬がもらえます。

こういった会議への出席は議員としての仕事の一部であり、議員報酬との別に報酬を得る事は重複報酬であるとして、富津市をはじめ、多くの市で条例改正をおこない重複報酬を廃止しています。

議員だから選ばれたという事は、議員の仕事の一環だと思えます。

議員報酬のみにするために条例改正が必要だと考えます。